| 科目ナンバリング | U-LAS20 10001 SB48 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | 英語リーディング ER71 1A6<br>English Reading | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 非常勤講師 布施　将夫 | | |
| 群 | 外国語科目群 | 分野(分類) | | 使用言語 | 日本語 | | |
| 旧群 | C群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 演習（外国語）（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2025・後期 | 曜時限 | 金4 | 配当学年 | 1回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[技能領域]**

アカデミックリーディング

**[授業の概要・目的]**

アメリカの著名な歴史家ダニエル・J・ブアスティンの著作『The Discoverers』を読み、CDでリスニングをしていく。アメリカ史学史の位置付けでは、コンセンサス学派の一人とされるブアスティンの手になる本書は、複数の偉人の人生を、各章で簡潔に紹介したものである。本書を味読することで、学生には、今後の人生の方針を考えて欲しい。

そして、博識なブアスティンの論理的な英語を読み親しみ、聞きなれることは、学問的な英語の読解能力やリスニング能力を高めることにもなる（演習形式）。

**[到達目標]**

アカデミックな英語の文章を、構造的に理解・把握できるようになる。その結果、英語の長文を簡潔、かつ迅速に説明できるようになる。

**[授業計画と内容]**

この授業では、論理的で緻密な洋書の伝記を読み聞きして、さまざまな偉人の人生をどう捉えるかを考えていく。なお、親しみやすい近代の人物から取り扱う。

第一回、オリエンテーション（授業の進め方や評価方法の説明）
第二－第七回、第3章のガリレオ・ガリレイを読む
第八回、小テストとまとめ、もしくはCD試聴
第九回、ガリレイの章をリスニング、もしくは読み残しを読了する
第十－第十四回、第4章のI・ニュートンを読む（余裕あればリスニング）
第十五回、期末試験
第十六回、フィードバック

なるべく自力で英文の論理の読解に努めてもらうため、一回の授業で四人くらい口頭で発表してもらう。一定量の英文（未定だが、たとえば一人半ページ）を、英文を読んでから翻訳し、各段落の要点を簡潔にまとめてもらう。

発表担当者以外の方も、一回の授業分を見越して予習しておくこと。

**[履修要件]**

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

英語リーディング ER71(2)へ続く↓↓↓

**英語リーディング ER71(2)**

**[成績評価の方法・観点]**

5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。
平常点（授業への積極的参加）10%、口頭発表15%、小テスト25%、期末試験50%。
（もし万一、小テストが不可能な場合、期末レポート75%に変更。）

**[教科書]**

Daniel J. Boorstin 『The Discoverers』（Kinseido）ISBN:978-4-7647-0501-2

**[参考書等]**

（参考書）
授業中に紹介する

**[授業外学修（予習・復習）等]**

なるべく自力で英文の論理の読解に努めてもらうため、一回の授業で四人くらい口頭で発表してもらう。発表者には、授業中に一定量の英文（未定だが、たとえば一人半ページ）を翻訳し、各段落の要点を簡潔にまとめてもらう。
発表担当者以外の方も、前回の授業内容を復習しつつ、一回の授業分を見越して予習しておくこと。

**[その他（オフィスアワー等）]**

**[主要授業科目（学部・学科名）]**